



上皿の大体中央に測定物を置くのが常識になっているのにもかかわらず、わざわざ皿の端に置き、その時の誤差を何パーセントと決めた“四隅テスト”というテスト法が、数年前まで日本にはあった

〔第2図〕 上皿天秤の“四隅テスト”